

■馬場鏐一 政治家。法制官僚から未経験の金融界に転じ、“高橋財政”急転換の“馬場財政”で衝撃、直後に没した。

ばばえいいち

琉球処分・・1879＝ 東京府芝区柴井町(東京都港区新橋)で、山本時光の長男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 2歳：

初の対等条約1888＝ 9歳：

帝国憲法發布1889＝10歳：

日清戦争始・1894＝15歳：

八幡製鉄始・1897＝18歳：

第一高等学校を経て、東京帝国大学法科大学に入学、

ヒアノ国産化・1900＝21歳：馬場家の養子となる。

日比谷公園・1903＝24歳：卒業して大蔵省に奉職し、高等文官試験首席合格。

日露戦争終・1905＝26歳：

満鉄発足・・1906＝27歳：韓国財政顧問付、大蔵省在官のまま目賀田顧問の下で、財政金融制度の整備に協力。

韓国反日暴動1907＝28歳：法制局参事官、

以後、法制畑を歩み、

明治天皇没・1912＝33歳：

21ヶ条要求・1915＝36歳：

原敬首相暗殺1921＝42歳：

水平社結成・1922＝43歳：法制局長官に就任。長期にわたる法制畑での功績で、勅選の貴族院議員となり、研究会に属した。

関東大震災・1923＝44歳：退任。

護憲三派圧勝1924＝45歳：

金融恐慌・・1927＝48歳：*＜金融恐慌＞後の財界不安定時に乞われて未経験の金融界に転じて日本勧業銀行総裁となり、

満州事変・・1931＝52歳：

国際連盟脱退1933＝54歳：

金融界の激動期に長期にその任にあたり実績を残して、

二二六事件・1936＝57歳：

*＜二・二六事件＞後の広田内閣の大蔵大臣となり、政情不安のなか、税財政の刷新を図って、いわゆる“馬場財政”馬場税制の予算案・税制改革案を提示した。具体化しなかったものの、高所得者の負担強化、中央・地方を通じる財政調整制度はのちの税財政改革につながる画期的なものであった。

日中戦争始・1937＝58歳：*ついで近衛内閣の内務大臣となったが、在任中に、心筋梗塞で没した。